

『北見ファン倶楽部』の発足

井戸理恵子

昨年の総会でもお話ししました『北見ファン倶楽部』の発足につきましてですが、多くの会員の皆様、また、北見市役所や北見市民の方々にもご理解、ご意見を賜り、いよいよ現実味を帯びて参りました。

実際に「北見のファンですー」と、北見会のさまざまな催し物に気軽に参加して下さる東京在住の友人たちも増えておりました。

そこで、来年東京北見会40周年に向けてこの試みを大きな枠組みと捉えて、北見市及び北見周辺地域への観光、短期と長期に渡るさまざまな旅行プランや滞在プラン、移住プランなどを考えております。北見会会員の皆様と知人、ご友人を通して、より多くの方に、住みやすく美しい街、そして道東の自然豊かな観光地へのハブとしての「北見」を知っていただくためにも、諸々尽力する所存です。

近々、『北見ファン倶楽部』会員の皆様向けの規約や会員証なども作っていきたく思っておりますが、より親しみやすいものをと考えております。何卒応援のほど、宜しくお願いいたします。

第3種郵便物認可

北

北見好き 首都圏で広がれ

首都圏在住の北見出身者でつくる東京北見会(井戸理恵子会長)は、20日から1泊2日の日程で北見を訪れる「平成屯田兵ツアー」を行い、在京端野会や東京常呂会の会員ら33人がパークゴルフや牧場体験を楽しんだ。同会は昨年、北見の魅力を発信するために「北見ファンクラブ」を設立し、今回のツアーには同クラブメンバーで道外出身の11人も加わった。

(富樫晴香)



パークゴルフで交流を深める東京北見会の会員ら

東京北見会「ファンクラブ」設立 道外出身者加わりツアー

東京北見会は毎年ツアーを開催しており、今年で11回目。

同会によると、これまでもツアーや東京で開く「ふるさと会」の催し物などに、北見とゆかりがない人たちも参加してきた。こうした「北見好き」の人たちの受け皿として「北見ファンクラブ」を立ち上げ、活動しやすくしたという。

一行は21日、市内美園のモイワスポーツワールドでパークゴルフを楽しんだ。参加した香川県出身の山内聡子さん(40)＝東京在住＝は「自然の中で体を動かしながら交流することは、なかなか東京ではできない。また北見にきたい」と満足そうに話していた。

これに先立ち東京北見会は20日、市ふるさと会カールینگ支援推進委員会の構成団体として、地元選手の育成を支援する市カールینگ支援推進委員会に25万円を寄付した。

▲2016年5月23日 北海道新聞 朝刊